



「オオバナミズキンバイ」対策について

近年、町内の一部の水田において「オオバナミズキンバイ」という黄色い花を咲かせる水草が見受けられるようになりました。令和2年度においては排水路への侵入・繁茂しているのが発見され、さらなる繁殖の恐れ、大雨時の水害を招く恐れから早急に除去作業もおこないました。

「オオバナミズキンバイ」は、非常に繁殖力の高い水草で、作付け、収穫時などへの影響が懸念されるため、分布の拡大を防ぐことを目的に見つけ次第、早急に除去するようお願いいたします。

★特徴

高温に対する耐性が非常に強く、
葉・茎・根の小さな断片からも再生する、

**極めて再生力・繁殖力の
強い植物です。**

★稲刈り時期の農作業における注意点

《稲刈り作業前》

水田内で稲と並んで生えている際は、できるだけ稲の刈り取り前に**根から抜き取って**
ください。

抜き取ったオオバナミズキンバイは野積みしてもなかなか枯死しません。また、地面に直置きしている場合、そこに根付いてしまうことが多々あるため、野積みの際はブルーシート等を敷いて根付かない配慮が必要となります。

※抜き取ったものの処分についてお困りの際は役場農業振興課までご相談ください。

除草剤の散布については、イマズスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル系の薬剤が抑制効果を示した試験結果がでています。

《稲刈り作業後》

水田への侵入があったほ場については、稲刈り取り後、**非選択性除草剤**をほ場全面に散布し、2～3週間程度の期間をあけたのち耕うんしてください。なお、次期の作付けについては、散布後30日程度の期間をあけてください。オオバナミズキンバイの葉・茎・根が圃場全体に広がることを防ぐためです。

生育後期…葉が細い。上に向かって生長する。黄色い花が咲く。



生育前期…葉が丸い。横に広がって生長する。

